



発行 令和元年 8月23日(金)  
発行人 郡山市小学校長会長 吉川和夫  
編集 郡山市小学校校長会 広報部

## 「出会いに感謝」and「令和の教育への思い」

郡山市小学校長会副会長 金透小学校 柳沼 文俊

本校の校歌「立志」の歌詞は  
「立てし心し 変わらずば  
石に立つ矢も ありという  
つとめはげみて ひろき世の  
まことの人と うたわれん」です。

通常、一番、二番などの歌詞の構成による校歌が多い中、この歌詞のみあり、金透精神として受け継がれてきた「立志」「努力」「必成」でもあります。

本校には、昭和から平成にかけて教諭として、平成から令和にかけて校長として、新たな時代をそれぞれに迎えた2回目の勤務となりました。そして、この校歌を歌うたびに、身の引き締まる思いがします。また、教諭としてお仕えした当時の校長先生から、研究教科「理科」を通して子どもの学びを大切にしたい授業創りに励むようと、毛筆で2枚の色紙に「科学する心」「真理探求」と書いていただきました。教職最終年を迎えた私はこれまで機会あるごとに、金透精神「立志」「努力」「必成」とこの2枚の色紙に何度勇気づけられたか計り知れません。感謝で一杯です。

それでは、私が校長として残された期間の中でできることはと考えると、まずは新時代「令和」に求められている様々な教育課題についての情報を整理することだと考えます。月刊誌やネットニュース等で「主体的・対話的で深い学び」「働き方改革」「AI」「人生100年」等の文字を毎日のように目にしています。

この中で、月刊「日本教育」に掲載された経済産業省「未来の教室とEdTech研究会」の立ち上げの記事には、正直、驚きました。

AIとデータが社会や労働観を変える時代が数年後到来し、教育においても実社会の課題解決的な学習を教科横断的に行うSTEAM教育の強化が大きなキーワードとされています。STEAM教育はScience(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)にLiberal Arts(人文科学)を加えた略語とのこと。さらにはEdTechによる個別最適化学習で一人一人の子どもの学びの生産性を向上し、探求に取り組む時間を産み出すことが不可欠であり、これらの実証事業として昨年7月から初等中等教育では23のプロジェクトを実施したとのこと。まさに人生100年時代を見据えた教育への試みのスタートであると思えました。

また、同誌では「働き方改革」の各学校で取り組むポイントとして「勤務時間管理の徹底」「適正な勤務時間の設定」「労働安全衛生体制の整備」「適正な業務の明確化・適正化」「教育課程の編成・実施」等に整理していますが、学校だけでは実現不可能であり、何から始めればよいのか。喫緊の大きな課題です。

このような今後求められる教育内容の動向や教育課題について、全教職員で情報を共有し互いに意識改革を行うことが、私がすべきことの第一であると考えます。また、子どもの学びのプロセスと育成したい資質・能力を明確にした授業創りこそ金透教育の真髄であり、令和の教育への思いを高め学び続ける教師集団でありたいと共感し合いたいものです。